

うだちから からだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のこです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。
問 地域振興課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

1 真冬の林業体験

〜 菟田野まち協〜

3年ぶりに開催となった第5回「真冬の林業体験」。朝から雪も舞っていましたが、イベント時には日差しもあり、天気にも恵まれました。

宝塚市、伊丹市、四日市市、大阪、県内、市内の各地から、毎回このイベントを楽しみにしていただいた方など12グループ28人の方に参加いただきました。

まずは、菟田野下芳野の山に移動し、森庄銘木産業株式会社の社長よ

り、この地の林業の特徴である「間伐」技術や植林、下刈り、枝打ちなどを繰り返し何十年と時間をかけ一本の木を育てることなど貴重なお話をお聞きしました。

その後、木の曲がりを見極め、切る方向を指図する人とチェンソーを使う人、この道50年余りのお二人の伐採実演です。伐採する木は樹齢約60年。

1本目は、あつという間に「バリバリバリ」という音とともに木と木の間に倒れました。2本目は1本目の木の上に重なる様に倒れ、神技に参加者全員拍手喝采！伐採の後、森庄銘木産業株式会社の工場に移動し、水圧を利用しての木の皮むき実演と体験、乾燥時に木が割れない様に背引きする実演、約1年かけて自然乾燥させる土堀の倉



▲丸太と格闘中



▲伐採現場にてハイ、チーズ!!

庫、木を使ったぬくもりある製品の数々を展示しているショールームを拜見しました。最後は、丸太を1kgに切る競争です。

各チームのこぎりと格闘。1位になったチームは、誤差39gと素晴らしい結果で、ヒノキのスツールの賞品にニッコリでした！

今回の体験に参加いただいた方からは、「職人さんの精度の高い、

2 伊勢本街道を

守って100年余り

〜 内牧地域まち協〜

ご参加いただいた皆さんの笑顔に関係者も笑顔になった一日となりました。

昨年9月と12月、防犯・防災部会では旧伊勢本街道の整備や周辺の名所・旧跡の環境保全と山道の整備を実施しました。内牧地域内にあるこの旧街道や登山道へは、毎年各地から多くの方がハイキングや伊勢神宮への初詣のお参りなどで訪れます。通る方の安全や安心に役立つ「行先



▲伊勢街道の補修作業中

案内板」の設置や旧街道の草刈りや補修・落木撤去などの景観保全を行いました。昨年末の30日には、榛原駅から約60人の方が伊勢神宮初詣を目指してスタートし、この旧伊勢本街道を歩きました。

この道づくり活動の歴史は古く、「内牧村風俗誌資料」(大正4年内牧村)によると青年会活動として行っていたと記録があります。現在は当まち協が設立時より9年間、毎年整備を実施しています。

内牧地域を通るこの旧街道沿いには、江戸時代に多く人がお伊勢参りに利用していた旅籠の建物が残っており、現在も松本家、津越家、宮田

3 子どもたちへの

プレゼント

〜 笠間地区サンタより〜

家など旅籠を営んでいた旧家の建物などが点在しています。これからも内牧地域の大切な財産を守る活動を続けていきます。

ホワイトクリスマスとなった昨年の12月25日、室生笠間地区在住の子どもたちを対象に「わくわくクリスマス会」と題して、音楽会とビンゴ大会を開催しました。

笠間地区のサンタさんたちは、



▲音楽会、これから歌うぞ!!

子どもたちが当日まで心待ちにできるように、お菓子入りの「アドベントカレンダーボックス」を配り、たくさんプレゼントを用意しました。

当日、雪の影響もありましたが30人程の子どもたちが集まり、ピアノが奏でる音楽に耳を傾け、終盤の音楽には飛んだり跳ねたりと全員でダンスをして楽しみました。その後のビンゴ大会も大盛況となり、子どもたちの元気な姿や笑顔がたくさん見られました。

アンケートでは、「今後も様々な楽しい催しや地域交流をして欲しい」との意見が多くあり、アンケートの意見を参考に今後の活動に生かしていきます。

〜 セリ〜

春の七草のひとつであるセリを、七草がゆで食べた方も多いでしょう。野生のセリは、次第に生えている所が少なくなりましたが、山麓の水気のある所、溝や水田に生えていることもあります。

セリの生薬名は、水芹すいせんといい、開花期の茎や葉を採集し、乾燥させて使用します。生薬としては古く、神農本草経しんねうほんそうけい(217年)にも記載されています。去瘀、止血などになり、むくみを除き、

血尿を治します。また食欲も増進させてくれるので、新鮮な葉や茎を食べるか、青汁を作って飲むのもよいでしょう。

セリは強健な植物ですから、日当たりのよい所でも日陰でも育ち、1年中収穫できます。ただ、冬から春は地上部全体を採集して使用できます。8月を過ぎたころ、茎を土の上から5センチぐらいの所で切り、新たに出た茎や葉を利用しましょう。



薬草逍遙(やくそうしやうしやうよう) 毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。

※当市で「薬草活用講演会」をしていただいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075